

# 国内外の個人情報保護法制と 科学技術イノベーションへの影響

-令和3年度関連法改正で必要となる対応を中心に-

## DETAILS

時間 18:30 – 20:00  
日程 7月20日(火)  
会場 Zoomを使用します  
言語 日本語

## SPEAKER



板倉陽一郎 弁護士  
ひかり総合法律事務所

## MODERATOR



隅蔵康一 教授  
政策研究大学院大学

参加登録はこちら

[https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN\\_pS\\_Fw6FMT0SGrlw\\_qDr675w](https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_pS_Fw6FMT0SGrlw_qDr675w)

## SciREX Seminar #35

EUの一般データ保護規則(いわゆるGDPR)をはじめとし、各国での個人情報保護に関する規制が整備されつつあります。

デジタル・トランスフォーメーションや Society 5.0、Industry 4.0など、科学技術イノベーション政策をめぐる様々な文脈で、データの経済的・社会的有用性と、データを提供する個人の個人情報保護のバランスをどうとっていくべきか、問題提起されている中、この問題の重要性は日々増してきていると言えるでしょう。

今回のセミナーでは各国の状況を概観したうえで、先日改正されたデジタル改革関連法案の中から、個人情報保護に関わる部分を解説し、今後の科学技術イノベーションへどのような影響を与えうるのか検討します。具体的には、施行へ向け大学や国立研究開発法人、独立行政法人といった研究機関においてどのような対応が必要になってくるのか、基本的な考え方から、どのような場合は例外となってくるのか、といった個別事例も含め、モデレータを交え議論します。セミナーの最後にQ&Aの時間も設けておりますので、ぜひ積極的にご意見、ご質問をお寄せください。

なお、このセミナーは「国内外の個人情報保護法制が日本の学術研究活動へもたらす影響」(研究代表: 隅蔵康一 GRIPS教授、2021年度)の一環として開催いたします。

### お問い合わせ

政策研究大学院大学 (GRIPS)  
科学技術イノベーション政策研究センター  
scirex-center@grips.ac.jp

# SPEAKER and Moderator



## 板倉陽一郎 弁護士 ひかり総合法律事務所

2002年慶應義塾大学総合政策学部卒，2004年京都大学大学院情報学研究科社会情報学専攻修士課程修了，2007年慶應義塾大学法務研究科（法科大学院）修了。2008年弁護士（ひかり総合法律事務所）。2016年4月よりパートナー弁護士。

2017年4月より理化学研究所革新知能統合研究センター客員主管研究員，2018年5月より国立情報学研究所客員教授。2020年5月より大阪大学社会技術共創研究センター招へい教授。2021年4月から国立がん研究センター研究所医療AI研究開発分野客員研究員。

国立大学法人政策研究大学院大学「国立研究開発法人及び国立大学法人等が研究目的により国内外の個人データを取り扱う場合の動向及び今後の課題等に関する調査分析（令和2年度文部科学省委託業務）」報告書執筆有識者。



## 隅蔵 康一 教授 政策研究大学院大学

1998年東京大学 大学院工学系研究科 博士（工学）学位取得、同年東京大学先端科学技術研究センター客員助手、1999年同センター助手、2001年政策研究大学院大学助教授、2007年同校准教授。2016年より現職。専門分野は、知的財産政策、科学技術政策。2012年6月から2016年まで文部科学省科学技術政策研究所（2013年7月より文部科学省科学技術・学術政策研究所に名称変更）第2研究グループ総括主任研究官を兼任。主要な著作に、隅蔵康一・竹田英樹編著『幹細胞の特許戦略』（発明協会、2011）、隅蔵康一編著『知的財産政策とマネジメント公共性と知的財産権の最適バランスをめぐって』（白桃書房、2008）隅蔵康一編著『知的財産88の視点』（税務経理協会、2007）、隅蔵康一「日本における医療イノベーションの促進に向けて：橋渡し研究支援拠点の活動を中心に」知財管理, Vol.71, No.42, pp.532-543. など